

社会福祉法人一麦会 (所在地：和歌山県紀の川市)

事業名

ゆめ・やりたいこと実現センター

主な連携先

紀の川市教育部生涯学習課
和歌山県教育庁生涯学習課

主な対象

知的・精神・身体・発達・重症心身障害者等

事業の趣旨・目的

- ・障害のある人や様々な困難を抱える人などの『生きる』と『生きる』を膨らませて、「ゆめ」や「やりたいこと」を実現させる。
- ・「生きる（衣・食・住・働）」が保障されるだけでなく、「生きる（学び・活動・役割）」が保障されることを目的とする。

事業実施体制

連携協議会：障害当事者（2名）、青年学級、スペシャルオリンピックス日本・和歌山、和歌山大学教育学部教授、県特別支援教育室室長、県生涯学習課企画調整班長、市生涯学習課長・班長、市障害福祉課長、重症心身障害児(者)施設センター長（医師）等20名で構成し**伝達報告会議ではなく議論**（ダイアログ方式、KJ法等）をする協議会にしている。コーディネーターは**専任常勤が条件**である。

学習プログラムの内容

『学び合う そして 創り合う』

夕刻の
たまり場
(毎週水曜日)

講座開催

- ・やりたいこと講座（16講座）
- ・連続講座（15単位×2企画）
- ・障害のある人が講師となり講座開催

やりたいことを
提案・企画・実現！
みんなで創る活動

- ・既存団体の活動や情報収集
- ・情報発信・連携して一緒に学ぶ

つぶやき
サポート

連携
協議会

- ・障害者の生涯学習啓発を目的に「あがるかるた」作成

研究の成果と課題

- ① 「やりたいこと講座」と「連続講座」の両軸
 - ・やりたいこと講座＝受講生を**広く募り**生涯学習への参加機会を増やした。
 - ・連続講座＝受講生を限定して**深掘り**し、仲間のつながりも深まった。
- ② **障害のある人が講師となって、講座を開催**
自分の知識や関心のあることを講師として伝えることで自信がついた。
- ③ **障害者の生涯学習を広めることを目的に、「あがるかるた」を作成**
願いをもとに、障害のある人や連携協議会委員がみんなで創り合った。
- ④ **育ち合いの「夕刻のたまり場」・「つぶやきサポート」**
「夕刻のたまり場」は学び合いの場であると共に育ち合いの取組である。「つぶやきサポート」の語り合いで悩みを共有することで**集団で解決を導き出し認め合えた**。また、コロナ禍でも開所すると共に、来所できない人にはオンラインでつながって孤立を防いだ。
- ⑤ **ゆめ・やりたいこと実現BOX 取扱説明書で啓発**
生涯学習の取説を地域の公民館等で配布するとともに  **多くの人に届くようにオンライン**でも発信している。
- ⑥ **コロナ禍のもとで「できない」ではなく「できること」を探し活動**
見えてきた課題：各市区町村に障害者の生涯学習・社会教育の拠点が必要。



連続講座の様子



夕刻のたまり場の様子



その他研究の詳細など

ゆめ・やり ホームページ & 紹介動画
<http://yume-yaritaikoto.jpn.org/>



HP



動画